

スクールガードさんの安全通信

No. 25 (No. 10 のその後)

2023. 6. 30

発行責任者
二見北小学校区
スクールガード代表
永田 聡

「低木街路樹刈り込み」等で児童通学時の見通しがよくなり安全になりました！

場所：マンションサーパス～西松屋～北小北門 T 字路付近 (実施：2023.6)



マンションサーパス入り口から西松屋付近。雑草大量に繁茂して歩道幅減少。



例年より約一か月早く低木は低く刈り込まれたが、高木(銀杏)の下枝は切り払われておらず植栽帯側の車道見通しが悪い。高木の下枝は電柱付近まで切除した。(例年5月下旬に道路整備課に要請している。)

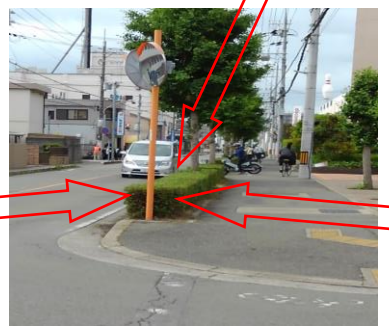


T字交差点南ウエステージ出入口付近。雑草、低木若枝伸び放題。信号至近、子ども赤信号になる前に走って渡る。(SG2 名立哨、適宜制止)

福里保育園前(西松屋前) T字路
5月中旬低木街路樹の伸びた若枝を仮伐採(伊藤が作業)しても、市道(164号)走行車両の左折シグナルが確認できない。

低木刈り込み(高さ約70cm)高木下枝切除(伊藤が作業)。
結果、児童にもドライバーにも視認性大幅に改善。

北小北門付近T字路信号
高木街路樹(銀杏)の下枝が伸びて、西から右左折するドライバーの信号視認性が悪い。(カーブミラーで確認も目視も重要。)



人と車の交通安全：それぞれは見通し(視認性)が良くなければ安心して進めない。いかに早く危険予知ができたかが安全を保障することになる。通行を阻害する物(人)が無ければ接触・衝突は起きない。阻害する物(人)を早く認知し、それを避けるための条件(対処)を整えることが重要だと思います。

報告者



SG：伊藤一頼さん